

2020年7月28日
20019

「8月4日はビヤホールの日」生ビール半額イベント開催中止のお知らせ

株式会社サッポロライオン（本社・東京都渋谷区、社長・三宅祐一郎）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年開催していた「8月4日はビヤホールの日」生ビール半額イベントの開催中止を決定いたしました。

例年、8月4日はサッポロライオンの創業祭として生ビール全品を終日半額にするイベントを開催し、多くのお客様にご愛顧をいただいております。本年も感染防止対策を徹底した上での同イベント開催を目指してきましたが、国内における感染拡大傾向が続く現状を鑑み、お客様・従業員の安心、安全を最優先にすべきと判断し、「8月4日はビヤホールの日」生ビール半額イベントの開催を中止とすることを決断いたしました。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、今後コロナ禍が収束し安心できる状況となりましたら、同様なイベントを別途実施することも検討しております。

ビヤホールの日とは

★1899年（明治32年）8月4日 日本初のビヤホールが誕生：モダンな造りで大盛況

日本初のビヤホール「恵比寿ビヤホール」は、1899年（明治32年）8月4日、「エビスビール」のプロモーション店舗として銀座の新橋際（京橋区南金六町五番地／現銀座八丁目）に、オープンしました。2階建ての煉瓦造りの建物の2階（35坪）を間借りして開店し、床はリノリウム張り、イスやテーブルはビールの樽材でつくられるなど、当時としては極めてモダンな内装でした。

当時は、蕎麦（もり・かけ）1銭8厘、コーヒー2銭、日本酒（上等酒）1升25銭3厘で販売される中、ビール500mlは10銭とまだまだ高級な時代でしたが、恵比寿ビヤホールは非常に繁盛し、何時でも満員御礼、毎日売切れの立札をするほどで、1日の来客数は平均800人に達しました。遠方から馬車でやってくる人もいたそうです。



日本初のビヤホール「恵比寿ビヤホール」

★8月4日を「ビヤホールの日」として認定

サッポロライオンが1999年に創業100周年を迎えたことを機に、創業日である8月4日を“日本に初めてビヤホールが誕生した記念日”として「ビヤホールの日」を制定、また日本記念日協会にも認定されました。

サッポロライオンでは、お客様に安心してご飲食をお楽しみいただくため、感染防止の取り組みを徹底し営業します。

以上

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

報道関係の方	経営戦略部（広報担当） TEL：03-5447-6193 / E-mail：sln.kouhou@sapporo-lion.com
一般の方	お客様相談センター TEL：0120-848-136